

平成29年度事業報告書

テーマ：地域に開かれた法人として関わりを深め、安心のできる暮らしの支援

サブテーマ 地域に頼られ、喜ばれる魅力的なデイサービスづくりを目指す

部署名：(通所介護)デイサービスセンターあじさい園

<概要> 1. 新しい取り組みで、利用者に喜んでもらえた。

2. 地域貢献事業は参加者に好評で、来年度も引き続き実施していく。

3. その他。

<総括> 1. 新しいボランティアグループ(フラダンス、ハンドベル、紙芝居)を積極的に受け入れ、レクレーションの幅が広がり、利用者に喜んでもらえた。

計画通り、年4回の広報誌を発行し、家族やケアマネに向けて情報発信できた。

2. 三国病院の前に開設したあじさいサロンを継続し、介護予防活動および介護リフレッシュ活動を行った。(毎月第2、4月曜日、13:30~15:00、全19回)

サロンではメンバーで担当制にし、音楽体操や手芸活動、脳レク、バザーなど多彩な活動を行えた。いこい・ほほえみが参加するあいあい祭りに、あじさい園利用者が育てたサボテンも出品し、完売した。また、家族会を地域に開放し開催した。6月はミニデイ体験会を行い4家族5名、11月はヴィオリラ演奏会を行い6家族7名の参加が得られた。

29年度受託した雄島地区の一次予防教室(音楽体操いきいき教室)を滞りなく開催(全18回)、外部講師も依頼するなど、参加者を飽きさせない工夫で好評のうちに終了し、地域とのつながりを深めることができた。

3. 28年度の利用者数減少が29年度もなかなか増加に転じず、大雪による休園(2/6~2/10)

の影響も大きかった。

この冬は37年ぶりの豪雪で、除雪も高速道路や国道が優先で一般公道が走行可能となるまで何日も要し、ほとんどの職員が出勤できず、また悪路で送迎に安全が確保できないためやむを得ず休園した。

休園中はケアマネジャーと連携して全利用者の安否確認を行った。また、白楽荘の人手不足のチームへ応援に行った。

29年度は2名の職員の休職により、人手不足も解消できなかった。しかし、年度末にかけて徐々に利用者が増加し、職員も復帰予定で次年度は利用者数増が見込める。